

2024年 1月 28日

# 主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②松岡 清枝姉

賛 美 讃美歌66番「聖なるかな」  
～イエスは愛で満たす～

主の祈り

聖書朗読 使徒行伝1章3～11節

特別賛美 「名前のない合唱団」～大和教会50年の歴史～

メッセージ 「神の国の力ある働き」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌495番「イエスの御腕に」

賛 美 「主イエス神の愛」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～喜びがある～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します！ 午後は聖歌隊の練習が行われます。

☆受洗おめでとうございます！ 杉山 <sup>さきこ</sup>幸子姉（1/25・長野市南千歳）。

★今週の祈り会： ①早天祈禱会 明朝6時、 ②祈禱会：木曜午前10時半、  
夜7時半（大和祈禱会映像）。 ③準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週日曜礼拝では誕生祝福式（司：石井兄/祈：白川兄）。午後は聖書の学び会。

## ★☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/28-2/4]

| Date | 日            | 月     | 火  | 水     | 木             | 金   | 土   | 日     |
|------|--------------|-------|----|-------|---------------|-----|-----|-------|
| 聖書箇所 | マタイ<br>22-23 | 24-25 | 26 | 27-28 | 出エジプト記<br>1-4 | 5-7 | 8-9 | 10-12 |
| チェック | 〇〇           | 〇〇    | 〇  | 〇〇    | 〇〇〇〇          | 〇〇〇 | 〇〇  | 〇〇〇   |

## 「神の国の力ある働き」

～カギは幼子のようになること～

「また、彼らに言われた、『よく聞いておくがよい。神の国が力をもって来るのを見るまでは、決して死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる。』」 マルコによる福音書9章1節  
「しかし主のみこころであれば、わたしはすぐにでもあなたがたの所に行って、高ぶっている者たちの言葉ではなく、その力を見せてもらおう。神の国は言葉ではなく、力である。」

コリント人への第一の手紙4章19、20節

イエス様はご復活され、弟子たちをその証人としてもう一度選ばれて、御自身は天に帰って行かれました。そして、残された弟子たちにその使命を託されました。

偉大なるイエス様の使命を、あの弱い、普通の人間でしかない、弟子たちに果たすことができるのでしょうか？ 本当に可能性は低かったと思います。でも、実際に弟子たちはその使命を見事に果たし、果たしたばかりではなく、あの歴史上最強と言われたローマ帝国をキリストの愛によって征服することとなりました(紀元392年国教化)。

どうして、あんな弱い無学な弟子たちがあの強大なローマ帝国を飲み込むほどの力を持って征服できたのでしょうか？ それは、彼らが人間的な知恵や理屈や方法で努力したのではなく、神から与えられる力によって導かれつつ、熱心に、一心不乱に、主に委ねつつ、前進したからと言えます。イエス様は天におられました、目に見えない聖霊様をお遣わしになり、弟子たち、そして、その弟子たちを通して多くの人々がどんどん救われて、その更に救われた人々が命に満ちあふれて、輝いて、証し人として生きたからであると言えます。

現代の私たちも同様であると言えます。決して人間的な議論や、理屈や、考え方によって神の働きを制限してはいけません。もしも、自分たちの考えややり方に落ち着いてしまっているとしたら、私たちは停滞し、決して成長はできないでしょう。しかし、生きておられる全能の神様の御心を求め、その方を信頼し、その方の御顔を拝するならば、私たちの働きはおのずと、実りあるものへと導かれていくのです。

人々は何かを求めています。それは生きる希望、確信に満ちて、信頼できる希望です。私たちにはそれが与えられています。イエス様こそが希望であり、確かな信頼できるお方です。

そのことを私たちは今までも体験してきましたし、今も、これからも体験し続けるのです。

どのようにしたら、神の国の力を体験できるのでしょうか？ イエス様は言われました。

「幼子のようにならなければ、決して神の国に入ること(神の国の力を体験する)ことはできません。(マルコ10:15)」と。「幼子のようになる」とは、自分が取るに足りない者、神を必要としている者であることを認めること。その世界が開かれる時に、私たちは初めて、神という偉大なお方に出会うことができるのです。病や弱さを通して私たちは幼子になることができるのです。すべてのことを感謝し、受け入れて、神様ご自身に私たちをお任せしていきましょう！